

日本レクリエーション協会 公認指導者養成課程認定校研究連絡会議
令和元5年度 ブロック研修会報告書

開催ブロック	北海道・東北ブロック
日時	2023年10月14日(土)～10月15日(日)
趣旨・目的	公認指導者養成課程認定制度の充実を図り、北海道・東北ブロックの課程認定校相互の連携を強化することを目的とする。
会場	ねぶたの家ワ・ラッセ研修室
スケジュール	10月14日(土) 金魚ねぶた制作、情報交換会 10月15日(土) 山内丸山遺跡見学、まが玉づくり
参加者数	9名(内訳:北海道ブロック2名、東北ブロック7名、関東ブロック1名)
内容紹介	<p>今回の研修は、「青森の伝統文化を知る」というテーマにおいて、2日間の研修が行われた。</p> <p>1日目は、津軽地方に伝承された民族行事である「ねぶた祭」に欠くことができない「金魚ねぶた」の制作を行った。2名の講師が付き、金魚ねぶたについての説明後、1つひとつ丁寧に教えてくださった。青森の金魚ねぶたは、造花店が内職で作り始めたとき、全体として丸みをおび、鱗が荒く、ひょうきんな顔であり、背びれはない等の特徴がある。作業はとても細かく、1時間程度集中しながら各々作成を行い様々な表情の金魚ねぶたが完成した。その後研修室で情報交換会を行い、各学校で授業での工夫や困っていることなどを共有し、今後の授業の参考となる意見も交わされ、忌憚ない意見交換ができた。また、次回の研修会の内容や場所等についても意見交換が交わされ、今後の検討事項となった。</p> <p>(1時間程度)その後、ねぶたの家ワ・ラッセ内に入り、最優秀賞を獲得した実際の大型ねぶたの見学やハネト体験や踊る際に使用する楽器のお囃子や大きな太鼓をたたき体験があり、実際に踊り、鳴らし、たたきことができ、ねぶた祭りの雰囲気を感じることができた。</p> <p>2日目は、北海道・北東北の縄文遺跡群である三内丸山遺跡での研修を行った。縄文時代前期～中期の大規模な集落跡をボランティアのガイドさんが案内としてつき解説付きで見学し、たくさんの竪穴建物跡や掘立柱建物跡、盛土、多くのお墓のほか多量の土器や石器、木製品などを見ることができた。40分程度の見学後、縄文時代のもの作り体験して勾玉作りを行い、縄文時代の装飾品を作成するという貴重な経験となった。</p>
所感	<p>「青森の伝統文化を知る」というテーマで、研修が行われ、実際に体験や見学を通して、資料だけではわからない、その土地の雰囲気や人や物や感情等に触れることができたと感じる。今回2つの制作物を体験したが、レクリエーションの授業の教材にすることを想定すると時間がかかるため、授業内では作成は厳しいことがわかったが、アレンジ次第で、クラフト制作につなげられると感じ、授業での教材の良いヒントとなったと感じる。また、ねぶた祭りでのハネト(跳人)や大きな太鼓をたたき体験し、リズムに合わせて動くたのしさや初めて触る楽器のおもしろさを実感でき、授業の中にも取り入れていきたいと感じ</p>

た。三内丸山遺跡等の見学を通して、その地域の文化や歴史を知った上で授業の中に取り込むことも大切なことだと改めて感じることができた。

※原稿送付の際、研修会の状況がわかる写真の添付をお願いします（2枚程度）

